



くわがた通信



VOL. 79
2019.10

手稲区 富丘西宮の沢まちづくりセンター

〒006-0012 札幌市手稲区富丘2条2丁目1-1 (Tel. 685-4745 Fax. 685-0376)

～地域で災害に備える～

富丘地区で避難所運営訓練を実施



9月28日午前9時30分から、手稲中学校の体育館で、富丘連合町内会主催の「避難所運営訓練」が行われ、同地区の町内会役員や地域住民ら約130人が参加しました。

この訓練は、災害発生時に迅速かつ的確に行動し、自分たちで円滑に避難所運営ができるよう地域住民の防災意識の向上を図ることを目的として実施しており、今年で5回目となります。



この日はまず、避難所の運営方法について手稲区から、続いて学校施設について手稲中学校から説明。その後、避難所でプライバシー確保するための、段ボールを使ったベッドの制作体験が行われ、参加者はグループごとに協力しながら積極的に作業を行いました。

続いて、公益財団法人札幌市防災協会の細川雅彦防災・危機管理専門官から、平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震などを基にした、災害発生時の状況や避難方法、避難所での生活方法などについて、スライド

を使いながら分かりやすく説明。細川氏は「災害が発生した時に大切なことは、死なないこと、そしてケガをしないこと。そのためにも、まずは自分で災害に備えるという、自助の意識が大切です」などの話があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。

そのほか、会場内の展示コーナーでは、備蓄品や防災グッズが展示され、参加者らは日頃からの備えと、地域住民による自主的な避難所運営の重要性を改めて認識した様子でした。

～西宮の沢地区にて～ **演芸の集い開催**

9月29日午後1時から、西宮の沢連合町内会の主催により、今年で11回目となる「演芸の集い」が開催されました。

会場となった富丘西宮の沢会館では、同連合町内会の町内会・自治会から出演する27組が、カラオケや





民謡を披露。出演者は、日ごろの練習の成果を発揮し、約 100 人の観客の応援にも熱が入っていました。中には、手作りグッズで応援する人や、歌に合わせて踊って応援する人たちもいて、会場はにぎやかな雰囲気になりました。

最後に審査員特別賞として 5 組の出演者が受賞し、同連合町内会の松浦会長から賞品が手渡され、大盛況のうちに閉幕しました。

～交通事故防止を呼びかけ～ **早朝一斉街頭啓発**

9月20日、交通安全市民総ぐるみ運動の秋の運動の一環として、早朝一斉街頭啓発が実施され、富丘西宮の沢地区でも 8カ所で朝早くから町内会役員や交通安全指導員など地域の皆さん



が街頭に立ち、通勤・通学の皆さんに交通事故防止を呼びかけました。

～みんなで楽しく～ **子育てふれあい交流会が開催されました**

9月11日、富丘西宮の沢地区福祉のまち推進センター（福まち）主催の「子育てふれあい交流会」が行われました。

会場の富丘児童会館には、日ごろから児童会館を利用している親子など約 15 組が集まりました。

交流会では、さまざまな用具を使って簡単に行える運動を行うことで、親子や参加者同士が楽しく交流。

マットを使った体操では、保護者などが子どもと一緒に体を伸ばしたり、子どもたちが保護者のところまでかけっこをしたりするなどしました。

子どもや保護者たちは、広い部屋を自由に駆け回ったりできることから、楽しそうな歓声をあげながら、思い切り体を動かして交流会を楽しんでいました。



さっぽろ市
02-001-19-851
31-2-658